

評価担当者	課名	氏名	内線
	農林振興課	矢野 晃	160

コード	IV-11-22	施策名	農林業の経営基盤強化と担い手育成
施策の方針	おいしく安全な食材を創り活かす		
まちづくりの方針	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)		
施策の目的	<p>「アグリ起業学校」などによる新規就農者の継続的な確保と「人・農地プラン」により位置づけられた担い手への農地集積を進めます。また、安心・安全な「ほんまもん・うすき」ブランド農産物の生産、流通体制の確立に努めます。</p> <p>林業では、荒廃している山林・竹林を整備することで、里山機能を回復させ、間伐材や竹資源の有効活用を図ります。</p> <p>また、有害鳥獣被害を軽減させるための防護柵を設置し、農作物の生産意欲を高めていきます。</p> <p>人・農地プランを作成し、各地域の農地を守る。又、農地中間管理機構への利用権設定を行い農地の集積を図ります。</p>		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人・農地プランの推進により担い手の確保をします。 ・集落営農の推進及び新規就農者支援します。 ・集落機能及び集落環境の保全を行います。(中山間地域直接支払交付金、多面的機能支払交付金) ・荒廃した竹林を整備することにより、タケノコや竹材が生産できる「優良な竹林」にしていきます。 ・有害鳥獣被害対策として防護柵を設置し、農作物被害の軽減を図ります。 ・農地中間管理機構の貸付面積の拡大を図り、遊休農地の解消を図ります。 		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							H31目標 上段：当初 下段：現在
			単位	H26	H27	H28	H29	H30		
「人・農地プラン」作成地区数	市内におけるプラン作成地区累計数	市内におけるプラン作成地区累計数	目標	箇所	55	60	200	315	70	
			実績	49	67	77	315	315		
			達成率	%	-	121.8%	128.3%	157.5%		
農地集積(ゾーニング)と面積拡大	農地中間管理機構を通じた利用権設定面積	農地中間管理機構を通じた利用権設定面積	目標	ha	50	90	130	170	200	
			実績	19.5	78.0	92	105			
			達成率	%	-	156.0%	102.2%	80.8%		
有害鳥獣被害を軽減させるための防護柵設置	防護柵の設置距離	防護柵の設置距離	目標	km	147	187	227	267	300	
			実績	160	147	177	254			
			達成率	%	-	100.0%	94.7%	111.9%		
竹林整備面積	竹林整備面積	竹林整備面積	目標	ha	6.0	9.0	12.0	15.0	30.0	
			実績	8.3	5.0	7.0	9.9			
			達成率	%	-	83.3%	77.8%	82.5%		
新規就農者の拡大	臼杵市アグリ起業学校研修生	臼杵市アグリ起業学校研修生	目標	人	8.0	12.0	16.0	19.0	15.0	
			実績	3.0	8.0	12.0	17.0	22.0		
			達成率	%	-	100.0%	100.0%	106.3%		
農作物に対する消費者の勉強会	学校や個人を対象にした研修会の開催回数	学校や個人を対象にした研修会の開催回数	目標	回	40	45	46	73	5	
			実績	2	28	45	72	75		
			達成率	%	-	70.0%	100.0%	156.5%		
			目標							
			実績							
			達成率	%						

指標の分析

人・農地プランの作成地区数については、課題であった「市内全域を網羅する広域プラン」の作成が平成30年3月に実現したため、全地域の作成ができ、担い手の確保に繋がっています。又、農地中間管理機構への利用権設定については、要項上相統等の問題があり、進んでいない状況です。また、有害鳥獣被害軽減のための防護柵の設置は、予算の確保ができたため、地区からの要望に応えることができました。

アグリ起業学校研修生は予定通り確保ができています。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(H29調査)	強化領域	2.39	1.37
市民意識調査結果分析	<p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」が高く、「満足度」は低い「強化領域」に位置しており、取り組みの強化が求められています。</p> <p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「強化領域」に位置しているため、目標達成のための予算の確保や補助制度の周知・啓発活動が必要です。</p>		

満足度

2.05

1.90

1.75

1.60

1.45

1.30

1.15

見直し領域

維持領域

検討領域

強化領域

1.85 2.00 2.15 2.30 2.45 2.60 2.75

必要度

<次年度以降の課題>

平成30年度以降の課題	<p>認定農業者や集落営農組織の育成及び新規就農者を確保しながら、農地中間管理機構を通じた担い手への農地集積を加速化する必要があります。また、有害鳥獣対策として、今後も引き続き防護柵の設置を行うとともに、捕獲により個体数を減少させ、農作物被害の軽減を図る必要があります。</p> <p>人・農地プランの作成については、臼杵地域・野津地域未作成の地区をまとめて広域的な作成を行うことが重要です。</p> <p>又、中間管理機構への貸付については、相統家系図等の作成により利用権設定の面積を拡大することが課題です。</p>
-------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費（単位：千円）			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				H28年度実績	H29年度実績	H30年度見込み			
1 活力あふれる園芸産地整備事業	園芸品目の機械・施設整備に係る補助	農林振興課	○	37,556	56,528	294,667	継続	○	
2 大分の茶産地強化対策事業	茶産地育成のための植栽・機械整備に係る補助	農林振興課		9,283	144,227	15,217	継続	○	
3 中山間地域等直接支払交付金	中山間地域における農業生産の維持、多面的機能の保全に係る交付金	農林振興課		14,490	14,737	14,364	継続	○	
4 水田農業構造改革事業	経営所得安定対策等事業の推進補助	農林振興課		8,536	9,982	9,060	継続	○	
5 多面的機能支払交付金	協定締結集落の共同作業による農地、農業用施設の維持管理、環境保全型農業に取り組む市内農業者への直接支援	農林振興課		32,909	33,606	35,412	継続	○	
6 農業後継者就農促進事業	「アグリ起業学校」(ピーマン学校)やファーマーズスクールにより、新規就農者を県・JA・ピーマン部会・市等が連携し、支援を行い、農業就農者の増加に取り組む。	農林振興課	○	8,204	7,837	8,273	継続	○	
7 青年就農給付金事業	45歳以下の新規就農者に対する給付金	農林振興課	○	52,469	66,284	68,288	継続		
8 有害鳥獣対策事業	イノシシ、シカ、サル、小動物の侵入を防止する柵設置に対する補助	農林振興課	○	29,271	69,374	49,335	継続	○	
9 竹林・里山再生事業	間伐による優良竹林化や作業道開設に対する補助金	農林振興課	○	2,723	3,781	6,751	継続	○	
10 農地中間管理事業	地域の担い手へ農地集積を行い、農地利用の効率化を推進する	農業委員会事務局	○	5,442	7,723	3,672	継続		
合計				200,883	414,079	505,039			

<施策の今後の展開 ～担当課長評価>

進捗状況	「アグリ企業学校」や「ファーマーズスクール」でのピーマンやいちごの新規就農者の育成など、園芸品目の拡大によるブランド化を進め農家所得の向上を目指すとともに、多面的機能支払交付金を活用した集落環境の保全に努めます。有害鳥獣対策については、狩猟の他に、罾を活用した捕獲も積極的に進めていきます。また、竹林整備についても、市報以外の周知・啓発活動を行う必要があります。	課長評価
概ね順調		最重点施策であり、来年度強化する

<施策の今後の展開 ～内部評価（内部検討会）>

進捗状況		内部評価
-		-

<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価：最終>

評価のコメント	外部評価
	-

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--